

海の京都 まち博 第3弾が始まります テーマは「ハイカラまいづる」



「赤れんが」や「引き揚げ」などの歴史と文化に培われた魅力がある舞鶴。この魅力を活かしたさまざまな楽しみ方を提案する通年型イベント「海の京都 まち博」の第3弾「ハイカラまいづる」を開催。

舞鶴の持つ「ハイカラな雰囲気」をテーマにまち歩きツアーや体験などの観光事業を展開します。

引き揚げを体感できる遊覧船や周遊観光ループバスの新ルートも実施予定。

◆かまぼこ手作り体験

【期間】4月4日(月)～11月30日(水)

【場所】舞鶴かまぼこ工房

【内容】かまぼこやひら天、焼きちくわの手づくり体験

【料金】3人以上の場合1人2,000円、2人の場合1人2,500円

【申し込み方法】

4日前までに電話で合同会社まいづる広域観光公社(☎77・5400)へ。



◆「舞鶴かまぼこ手形」でバスが1日乗り放題

本物のかまぼこ板で作ったバス1日乗車券「舞鶴かまぼこ手形」を西舞鶴駅前案内所、東舞鶴チケットカウンターなどで販売中。市内を走る京都交通の路線バスや周遊観光ループバスが1日乗り放題になります。料金は1,000円(小学生以下500円)。

また、手形を提示すると引揚記念館や赤れんが博物館の入館料が無料になるなどの特典も。

市内観光をお得に楽しむための「かまぼこ手形」、ぜひご利用ください。

「ツバキまつり(下記事)」もかまぼこ手形で入園無料に。

▶まち博に関する問い合わせは、観光商業課(☎66・1024)へ。

華やかなツバキに囲まれて 自然文化園でツバキまつり

舞鶴自然文化園内のツバキが見ごろを迎えます。5畝のツバキ園のツバキ巡りコース、展示棟やカメラハウスでは日本古来の種から中国、アメリカなど世界中のツバキ1,500種3万本を見ることが出来ます。また、期間中に各種イベントも開催。色とりどりのツバキをお楽しみください。

【日時】3月19日(土)～4月10日(日)9時～17時(入園は16時30分まで)

【場所】舞鶴自然文化園

【内容】ツバキを鉢植えや切り花、写真パネルで紹介など。スタッフによる案内も可。

【料金】300円(小・中学生150円)

▶詳しくは、花と緑の公社(☎68・1187)へ。



【開催期間中の各種イベント】

《記念写真プレゼント》3月19日(土)～21日(月)。各日先着20人。

《ツバキ苗木の販売》3月19日～31日(休)

《来館者へのプレゼント》3月27日(日)。先着50人。

《ツバキの接ぎ木講習会》3月27日。定員10人。料金500円。申し込みが必要。

《ツバキ油を使った化粧水作り》3月27日。先着30人。料金300円。



地域で「北陸新幹線」を京都府北部へ

北陸新幹線京都府北部ルート 「誘致促進同盟会」総決起大会

北陸新幹線京都府北部ルート誘致促進同盟会を3月5日(土)に設立。総決起大会を次のとおり開催します。どなたでも参加できます。入場無料。



▲北陸新幹線を走る車両(イメージ)

同会は、政府・与党や関係地方自治体、JRをはじめとする関係者間で議論されている「北陸新幹線の敦賀以西ルート延伸」のうち、小浜から舞鶴、京都を経由し、関西国際空港を結ぶ「京都府北部ルート」の実現を目指すために、京都府北部の自治体、市町議会、商工団体、観光団体など、官民が一体となって誘致に取り組むものです。

北陸新幹線は、東海道新幹線の代替機能を果たす日本海側国土軸を形成するとともに、東京一極集中を打開し、地方創生を促進する一大国家プロジェクト。京都・大阪への所要時間の大幅な短縮や観光誘客、交流人口拡大などさまざまなメリットを生むこの誘致を目指してみんなで盛り上げましょう(4頁に関連記事)。



【日時】

3月5日(土)15時から

【場所】

京都府中丹文化会館(綾部市)

【内容】

◆京都府北部地域による京都府北部ルートの魅力をアピール
◆内閣官房参与で京都大大学院工学研究科教授の藤井聡さんによる基調講演 など

▶詳しくは、企画政策課(☎66・1042)へ。



▲藤井聡さん

2016年最初のクルーズ客船

「シー・プリンセス」が3月25日に初入港



プリンセス・クルーズ社(米国)のクルーズ客船「シー・プリンセス」が京都舞鶴港に初入港。このクルーズはオーストラリア発着42泊のロングクルーズで、シドニーを出发後、タイ、シンガポール、ベトナム、香港などに寄港。日本では舞鶴、金沢、青森、横浜などに寄港します。

【日時】3月25日(金)6時入港、20時出港

【場所】京都舞鶴港西港第2ふ頭(松陰)

【ご注意を】

第2ふ頭は国際条約に基づく保安上の理由で立ち入りを制限します。また、クルーズ客船付近での小型船舶の操縦は危険ですので、お控えください。

▶詳しくは、みなと振興・国際交流課(☎66・1037)へ。

春めく季節に加佐へお出かけ

大庄屋上野家で新聞ちぎり絵展とたまご祭り

◆新聞ちぎり絵展～四季折々～

【日時】3月31日(休)まで9時～17時(水曜日定休)

《体験教室も実施》

3月21日(祝)13時～15時。先着10人。参加費100円。申し込みは、3月20日(日)までに電話かファクスで加佐地域農業農村活性化センターへ。



▲広瀬美代さんの作品

◆産地で楽しむ春のたまご祭り

【日時】3月26日(土)10時から

【内容】イースターエッグ作りやエッグハント(子ども向け宝探し)、養鶏農家によるお話し。加佐の新鮮朝採り卵かけご飯と豚汁付き。



▲イースターエッグ

【定員】先着20人

【料金】500円(未就学児は無料)

【申し込み方法】

3月22日(火)までに電話かファクスで同センターへ。

▶詳しくは、同センター(☎60・8200、FAX60・8201)へ。